

# 安全体験 研修案内

当センターでは、さまざまな生産現場から災害を未然に防止するため、製造業従事者の安全に対する感性を高める研修を行なっています。新入社員、経験の浅い若手社員に対する安全伝承、中堅・熟練従業員には再教育と、現場で想定される危険を擬似体験を通して実践的に学ぶことが出来ます。

## 見て、触って、やって、感じて、考える 安全研修

### 〈募集要領〉

開講時期：定期(6月、7月、8月、9月、10月)  
随時(7月、9月、10月、11月、12月  
1月、2月)\*

\*10名単位で随時開催。  
詳細は、窓口までお問い合わせください。

研修時間：3時間  
・午前の部(8:30~11:30)  
・午後の部(13:30~16:30)

募集対象：新人から若手、中堅・熟練者、管理監督者  
までどなたでも受講できます。

定員：10名(1日20名)

研修場所：相生技能研修センター  
(㈱JMUアムテック構内)



(消火器の使用体験)



(脚立の危険)



(梯子昇降の危険)



(低圧電気の危険-感電)



(墜落の衝撃体験)



(安全带負荷体験...安全帯の正しい着用)



(手・指の挟まれる危険)



(ドリル巻き込まれの危険)



(油圧・空圧パワーの危険)

兵庫県職業訓練認定機関

**相生技能研修センター**

〒678-0041 兵庫県相生市相生5292番地

㈱JMUアムテック 構内

窓口 坂本 事務局長

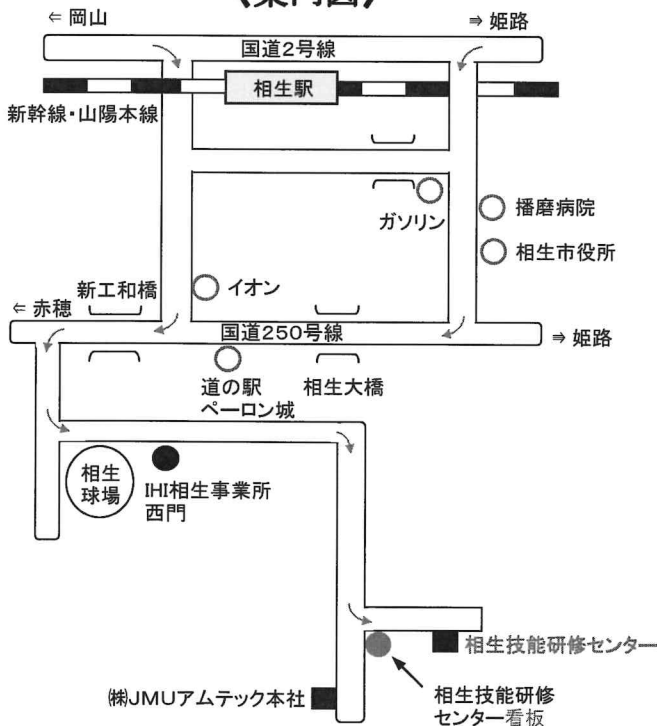
電話 0791-22-5810

Fax 0791-22-1422

# 体験メニュー

体験項目	内容
1 消火器の使用体験	消火器を使った消火作業の体験。
2 墜落の衝撃体験①	人体の重量と同等のサンドバック(60Kg)を高さ約3mから落下させ、人体にかかる衝撃を体験。
3 墜落の衝撃体験②	研修生全員で展張した安全ネット上にサンドバック(30Kg)を高さ約3mから落下させ、その衝撃の大きさを体験。
4 安全帯負荷体験(正しい着用)	安全帯を着けてぶら下がり、正しく着用した場合とそうでない場合の違いを体験。
5 垂直タラップ昇降の危険	垂直タラップを3点タッチで昇降し、その難しさと重要性を体験。
6 高所の体験	実際に高所(約3m)に設置された足場上を歩き、高所の危険を体験。
7 飛来落下の危険	金矢(600g)を高さ約4mから頭に見立てた素焼きの鉢に落下させ、ヘルメット着装・未着装における損傷状態を体験する。
8 脚立の危険	脚立に上った状態で一脚を落とし、脚立作業における危険を体験。
9 梯子昇降の危険	固縛されていない梯子に上った場合を想定し、その危険を体験。
10 酸欠の危険	狭隘箇所に見立てたボックスの中にCO2半自動溶接機からCO2を送り、酸素濃度を計測しながらローソクが消える状態を確認し、酸欠の怖さを体験。
11 溶接ヒュームの危険	CO2半自動溶接機でアークを発生させ、ヒュームによるフィルターの汚れから溶接ヒュームの怖さと防塵マスクの重要性を体験。
12 火傷の危険	模擬手に装着した木綿と化繊の軍手を燃やし、違いを体験。
13 荷振れの危険	吊り荷とクレーンフックの芯が合致していない状態から荷を吊り上げ、荷の動きと壁と吊り荷の間に設置したマネキンの動きから、荷振れの危険を体験。
14 手・指の挟まれる危険	吊り荷とワイヤーの間に手に見立てた竹を入れて吊り上げ、挟まれる危険を体験。
15 一本吊りの危険	1本吊りは何故禁止されているか?を体験。
16 質量目測の体験	物の大きさ、形状で判断せず、安易に物を持ち上げないことを認識。
17 ワイヤー切断の危険	当て物(丸と角)の違いによる、ワイヤー切断時の荷重差を体験。
18 ドリル巻き込まれの危険	模擬手に軍手を着け、回転しているドリルに触れさせて、巻き込まれを体験。
19 低圧電気の危険(感電)	乾燥した手と湿らせた手で交互に電極に触れ、電流値の違いと感電の怖さを体験。
20 たこ足配線、過電流の危険	1000Wのエアードライヤー1台使用時では電線に変化がないが、2台使用時では焼損することを確認、過電流の怖さを体験。
21 油圧・空圧パワーの危険	エアレスの圧力を高め(25倍)、その水圧で大根を切断させ高圧の怖さを体験。

## 〈案内図〉



○ JR山陽新幹線または山陽本線「相生」駅にて下車、駅前よりタクシーご利用にて約15分。IHI相生事業所西門にて下車、入門手続き後、そのまま乗車にて安全体験センターまでお越しください。

○ 乗用車ご利用の場合も、IHI相生事業所西門にて下車、入門手続き以降は、タクシーご利用の場合と同様です。